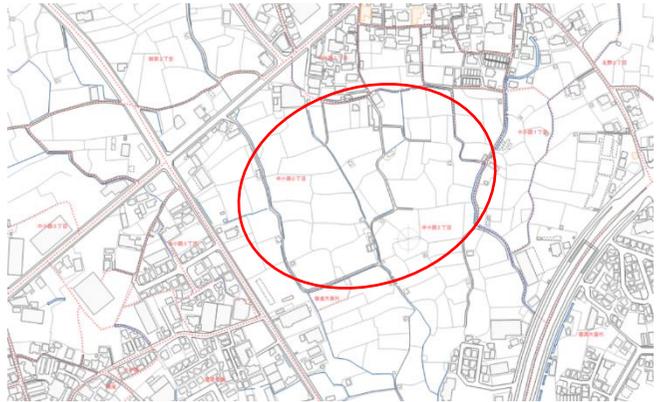
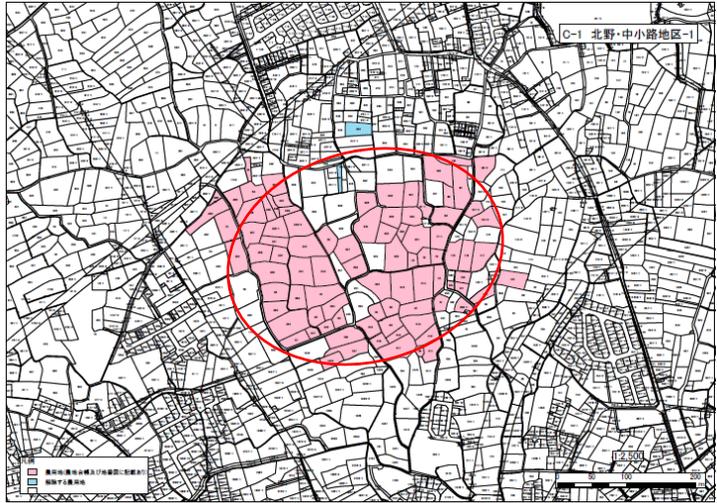


# 「泉南市都市計画マスタープラン（案）」に対するパブリックコメントについて

「泉南市都市計画マスタープラン（案）」に対するパブリックコメントの実施結果は、下記のとおりです。

1. 募集期間 令和7年1月6日（月）から令和7年2月5日（水）まで
2. 提出方法 持参、郵送、ファックスおよびEメール
3. 提出者数 2名
4. 意見件数 7件
5. 寄せられた意見と意見に対する市の考え方
6. 氏名・住所・連絡先の記載がない方、市民等であること（在住・在勤・在学等）を確認できない方、期日を過ぎて提出があった意見は記載していません。
7. 計画内容に触れていない意見、計画<案>の賛否を問うものではないため賛否の結論のみの意見は記載していません。
8. 提出された意見等に類似したものがある場合は、これらを集約し適宜整理した上で記載している場合があります。

項目 番号	寄せられた意見等	意見に対する市の考え方
1	<p>下記地図の丸囲みの農地ですが、ほとんど殆ど米や野菜を作っていない空き地です。このままですと荒地になってしまいます。泉南市の発展のために、人口増加のために、タウン計画を立てたらどうですか。いまの内ですと国道からの道が通せません。遅くなると道周辺すべてに建物が出来ると簡単には道が通せなくなります。岡田浦から徒歩 15 分、26 号線から車で 3 分であり、立地条件がいいです。</p> 	<p>ご意見ありがとうございます。当該エリアは、現在、泉南農業地域振興整備計画において、農用地区域に指定されており、土地利用の制限があります。今後の検討課題とさせていただきます。</p> 
2	<p>都市計画マスタープラン作成を長年やっておられるようですが、進捗状況はどうなんでしょうか？2015 年に策定し計画的な都市づくりを進めてきました。とありますが、市民の目から見てどこがどう変わったのかわかりづらいのです。泉南市は私たち市民のものだと思います。関心の少ない市民も多々あると思いますが、もっと行政の方から市民目線で変化しているわかるような情報を頂けないでしょうか。</p>	<p>今後の市政への参考ご意見としてさせていただきます。 まちづくりについて、何を行っているか、何が完成したのか等、情報発信は重要であり、今後も広報や SNS 等で発信していく予定です。 都市計画道路などの都市施設は、整備状況によって進況が分かりやすいですが、土地利用については劇的に変化するような計画ではなく、民間の経済活動に委ねるところが大半を占めます。将来都市像の実現に向けて引き続き土地利用の誘導を行ってまいります。</p>

3	<p>第4章では、まちづくりの基本的な方針を掲げてありますが、全く同感で行政主導から協働という形への移行が最重要課題ととらえています。それには先ず市民意識を変えるにはどうしたらいいのかを考える必要があります。</p>	<p>計画策定やまちづくりにおいて、市民参加や参画・協働は重要であると考えております。市としては、情報の周知を徹底し、アンケートの実施やワークショップの開催など、市民にまちづくりに関心を持って頂けるような取組のほか、市民活動の支援などといった協働のまちづくりに努めます。</p>
4	<p>10年前からコンパクトシティ構想はありました。(1)コンパクト・プラス・ネットワークの形成の取組など今更の話ではありませんか、福祉も4圏域に分けたりとありますが、住民はそれぞれの場所にいることが普通の事なので、「コンパクトな市街地が連携したまちづくりを進め、生活に必要な都市機能を集約させ、その周辺を含め、地域の個性を活かした各拠点の形成を図るとともに、拠点を連携した公共交通ネットワークの維持・向上に取り組めます。」という事は、この10年間何もしてこなかったことになりませんか？2020年に法律が改正されたにもかかわらず計画の策定を推進するという考え方は変です。計画だからという逃げは通用しません。人口減少・高齢化・少子化という現在を見据えると市町村合併も有りうるのではありませんか？合併した時に泉南市はどうなるのでしょうか？職員の皆さんも生き残れますか？事は重大です。</p>	<p>都市計画マスタープランに定める内容の基本的な考え方は、国土交通省が定めた「都市計画運用指針」に示されており、それに基づき本市の特性に合わせて作成しています。今期の改定にあたっては、全国的に加速化する人口減を背景に、可能な限り人口減に歯止めをかける受皿として魅力ある都市づくりを検討してきました。</p> <p>また、都市再生特別措置法等の改正を踏まえて、居心地が良く住み続けられるまちづくりを目指しています。都市計画マスタープランの改定に引き続き、都市機能の立地誘導によるコンパクトで効率的なまちづくりを目指す立地適正化計画の策定も念頭に置いています。</p> <p>そのために、集約を図りつつ、都市機能を補完する幹線沿道の活用も念頭に、官民連携やエリアマネジメント（地域主体の取組等）などの多面的な都市づくりをイメージしています。このような取組みは短期間で完了するものではなく、土地利用の誘導は長期的な視点で進められるものであり、数十年のスパンをかけて段階的に進行するため、まちは時間をかけて徐々に変化していくことが想定されます。</p> <p>市町村合併についてはご意見として伺います。</p>
5	<p>南海トラフ地震が近い将来起こるかもしれないというときに、自治会に入らない世帯が増え人々のネットワークが消え去ろうとしている今、防災ができますか？人災のほうが一番怖いと思います。</p>	<p>2020年の法改正に伴い、安全なまちづくりを進めるとともに、ソフト対策においては泉南市防災計画において、自助・互助・共助の力で支え合う災害に強いまちづくりを推進しています。災害時の役割分担・相互の協力体制や連絡方法については、可能な企業や団体との協定締結や、地域のコミュニティ活動の推進など、今後も引き続き、災害時の備えに取り組めます。</p>
6	<p>PDCA サイクル、OODA サイクルの評価を市民が分かっていますか？</p>	<p>見直し、改定の取組みについて、時代のスピードに合った対応を進めるものである事を記載しております。今後もしっかり評価していく事が重要であり、評価結果を市民にわかりやすくお伝えしたいと考えています。</p>
7	<p>「都市計画マスタープランの施策・事業と整合した地域のまちづくり活動に取り組めます。」とてもいい表現ですが、どうしたら実現可能になるかという所から考えてみましょう。</p>	<p>都市計画マスタープランの実現には市民・事業者等の協力が不可欠です。皆さまのご意見をお伺いするとともに、ご提案等をいただけますと幸いです。</p>